

明石市立木の根学園の管理運営状況報告(2023年度)

施設所管課 福祉局生活支援室 障害福祉課

2012年4月から指定管理者制度を導入した明石市立木の根学園について、2023年度における指定管理者による管理運営状況を報告します。

1 指定管理者

(1) 指定管理者	社会福祉法人 明桜会
(2) 指定期間	2023年4月1日～2028年3月31日
(3) 指定管理料	2023年度協定締結額(当初) 62,820千円 (変更後) 62,740千円 決算額 62,740千円 (2022年度協定締結額(当初) 62,820千円 (変更後) 62,624千円 決算額 62,624千円)
(4) 管理体制	・総括管理者 1人(管理者兼務) ・管理者 2人 ・サービス管理責任者 2人 ・生活支援員 52人 ※内 3人事務員兼務、1人清掃員兼務 ・職業指導員 2人 ・機能訓練指導員 1人 ※両工房兼務 ・看護師 2人 ・事務員 3人 ・清掃員 2人 ・医師(嘱託) 1人 ・合 計 68人※内職種兼務5人、工房兼務1人 (正職員 33人、契約職員34人、嘱託職員 1人)

2 評価項目

(1) 顧客満足度について

① アンケート調査等の実施状況

<木の根学園利用者・保護者アンケート(2024年3月実施)>

質問事項	2023年度						2022年度					
	満足している	やや満足	やや不満	不満がある	わからない・どちらともいえない	無回答	満足している	やや満足	やや不満	不満がある	わからない・どちらともいえない	無回答
利用者様は楽しく学園に通っていますか？	66%	26%	0%	1%	7%	0%	70%	24%	1%	1%	3%	1%
コロナ禍、配布のお手紙やブログで、学園の様子はお伝えできていますか？	59%	34%	2%	0%	4%	1%	52%	40%	5%	0%	3%	0%
職員は、利用者様に丁寧(乱暴な言葉の使用、命令、体罰をしない)に接していますか？	75%	23%	1%	0%	1%	0%	71%	20%	1%	0%	7%	1%
利用者様の個別支援計画や生活の様子について十分な説明や情報提供がありますか？	60%	36%	1%	0%	2%	1%	59%	30%	4%	0%	5%	2%
家族の要望や不満、利用者様に関する心配なことを言いやすい雰囲気がありますか？	60%	36%	0%	0%	4%	0%	54%	39%	2%	0%	4%	1%
施設管理者や職員は家族の要望や不満に、きちんと対応してくれますか？	74%	23%	2%	0%	1%	0%	60%	32%	2%	0%	5%	1%
この1年を通して、木の根学園のサービス内容に満足していますか？	61%	30%	3%	1%	3%	2%	60%	32%	5%	0%	1%	2%

② 利用者からの主な苦情とその対応

・令和4年度のアンケート結果と比べると、質問1の回答以外、“満足している”のポイントが上昇している。(質問1は-4ポイント)
 ・全体的にはコロナ禍が明け、行事や活動が再開できたことを喜んでいただけていると見られる。
 ・昨年度に比べると“やや不満・不満がある”という回答は全体的に減少しているが、記述の回答の内容を確認すると木の根学園でのプログラムの個別化と充実を希望されており、今後は現在の日中活動をベースにしながら、個々への活動提供に重点を置いて取り組んでいきたい。

所管課コメント

・アンケートは、「満足している」「やや満足」の合計値がどの質問事項でもおおむね9割程度となっており、利用者や保護者から高評価を受けている。
 ・2回目の指定管理期間(2017年度から2022年度)に引き続き、2023年度から2027年度までの5年間の指定管理期間の1年目(通算12年目)となり、事業・サービス内容について安定し順調に推移している。

(2) 事業達成度について

①事業・業務の実施状況	<運営業務> ○たんぽぽ工房、ひまわり工房は、土曜日(年間26日)の開園を含む年間267日開園した。開園日数については最大限可能な日数で設定している。 ○短期入所施設(2016年4月開設)は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、利用率が低下していたが、利用状況も回復傾向にある。
	<維持管理業務> ○厨房給湯管交換修理、ケーキ室間仕切り交換修理、短期入所棟男子トイレ壁・床改修、ひまわり工房廊下壁修理、エアコン室内機部品交換修理等 ○利用者の安全を優先し、適切な修繕を行った。
	<自主事業> ○9月にハイキングを実施し、両工房合わせて107名の利用者が参加した。 ○1月に新年会を実施し、両工房合わせて105名の利用者が参加した。
	<その他業務> ○各種研修に職員が参加しスキルの向上に努めた。 ○利用者・保護者や関係機関から聴取した個人情報について、個人情報保護の観点から鍵付書庫で管理している。 ○緊急対応マニュアルを作成し、マニュアルに基づいた対応を実施。 ○個別支援計画の公開・工賃明細の配布等、必要に応じ対応した。

②施設等の利用状況	<木の根学園利用者の施設利用状況>			
		開園日数	在籍者数 ※年間平均値	利用率 ※年間平均値
	たんぽぽ工房	267日 (R4 267日)	59.7名 (R4 59名)	85.27% (R4 83.31%)
	ひまわり工房		60名 (R4 60名)	85.39% (R4 84.43%)
	たんぽぽ工房 ひまわり工房 計		119.7名 (R4 119名)	85.33% (R4 83.74%)
	短期入所施設	357日 (R4 359日)	6名(定員)	87.62% (R4 83.94%)
所管課コメント	・たんぽぽ工房、ひまわり工房、短期入所施設は、昨年度に比べ利用率が向上し、安定的な支援を実施することができたと考えられる。 ・新型コロナウイルス感染症により、昨年度まで多くのイベントを中止していたが、感染対策を講じた上で、ハイキングや新年会などの園外事業を再開するなどし、利用者や保護者のニーズに沿った運営が実施できていると考えられる。			

(3) 事業収支について

①収支状況	<収支状況>				
	(単位:千円)				
	項目		2023年度	2022年度	2021年度
	収入合計(A)		359,239	330,599	313,181
	内訳	指定管理料	62,740	62,624	62,383
		利用料収入	281,524	252,385	238,096
		その他収入	14,975	15,589	12,702
	支出合計(B)		339,814	320,867	312,666
	内訳	人件費	249,757	235,379	232,291
		事務費	7,165	7,321	7,516
		管理費	55,682	53,014	50,962
		物件費	1,138	929	999
		負担金	1,476	991	817
		事業費	17,935	17,169	15,142
		公租公課	179	189	224
一般管理費		519	484	500	
その他支出		5,963	5,391	4,215	
収支(A-B)		19,425	9,732	515	
②使用料等の収入状況	(単位:千円)				
	項 目	2023年度	2022年度	2021年度	
所管課コメント	利用料収入(自立支援サービス給付費)		281,524	252,385	238,096
	・令和5年度より強度行動障害を有する利用者への専門的な支援を始めたことによる加算(重度障害者支援加算Ⅱ)に加え、コロナ禍が収束したことによる利用率の増加からプラス収支となった。 ・コロナ禍後も感染症対策を行いながらの運営を続けたことで1月～3月の期間に季節性のインフルエンザなどの流行を阻止でき、安定した運営が行えた。				

3 その他参考となる特記事項

・利用者・家族の高齢化により、短期入所の緊急利用や在宅から地域生活(GH等)への移行の相談が増加しているため、日中の通所支援以外の個別のサポートも行ってきた。

4 所管課総合評価

・12年目の指定管理業務について、ここ数年のコロナ禍から一転し大人数で集まれる行事やイベントなどが実施できる1年となった。施設の利用状況は増加傾向にあり、12月以降は1度も感染症による通所自粛をお願いすることはなく、安定した運営に繋げることができた。

・利用者支援について、「意思決定支援」と「強度行動障害への支援」をテーマに掲げ、「意思決定支援」においては、利用者の意思決定機会の創出として利用者自治会の充実化を図った。「強度行動障害への支援」においては、行動援護従事者研修修了者を増やすことにより、各工房内で自閉症支援の礎を築き、継続的な支援現場の構造化や時間の構造化を推し進めた。